


100校プロジェクトから見えた
これからの課題

1999.8.10

JERIC 國重 誠之

1994年8月1日



- 小中高校の先生のためのインターネット研修会
- テーマ:「インターネットが学校教育にもたらす価値と可能性」
- **1994年8月1日(月) 午前10:00～午後4:30**
- 有楽町朝日スクエア(朝日新聞記念会館)

話 題



- インターネット教育利用の新しい道
by IPA & CEC
- Japan Educational Resource Information
Center (JERIC)

100校プロジェクトの概要

- 産業構造審議会情報部会報告 H5.6
- 高度情報化プログラム H6.5
- 平成5年度第3次補正予算
- 特定プログラム高度利用事業
- 教育ソフト開発・利用促進プロジェクト

100校プロジェクトの概要

- 100校プロジェクト 1994-1996
- (こねっとプラン 1995-)
- 新100校プロジェクト 1997-1998
- Eスクエア 1999-

100校プロジェクトの成果

- 学校の変化
- ネットワーク環境の変化
- 行政の変化

学校の変化

- 教師の意識改革
- 学校の活性化
- 指導技術のスキルアップ
- 学校を開く

ネットワーク環境の変化

- 学術利用から教育利用
- 自助組織からサービス提供
- 専用線の普及

行政の変化

- 2001年までにすべての学校をインターネットに接続
- 情報科目
- 個人情報保護条例
- 財政的措置

100校プロジェクトにおける課題

- 管理職の理解と職場環境
- 管理面での負担と仕事量
- 環境整備と運営体制
- 環境整備のための技能習得
- 支援体制

これからの課題

- ネットワーク接続とセキュリティ
- 組織的、継続的な学校教育現場に対する支援
- ドメイン名
- ...

ネットワーク接続とセキュリティ

- 高速専用線
- 校内ネットワーク
- セキュリティ

組織的、継続的な支援

- 環境導入の支援
- 環境維持の支援
- 教員研修の支援
- 授業計画・準備、授業の支援
- 評価の支援
- 地域活動の支援

支援体制の事例

- Japan Educational Resource Information Center
- 早稲田大学インフォメーション実証実験
- 通称: JERICプロジェクト



JERICプロジェクトの目的

1. インターネット初心者教員の支援
2. 先進者の人的ネットワークの活用
3. 情報の集約と伝達、提供

1. インターネット初心者教員の救済

- 早稲田大学内にインフォメーションセンターを設置
 - インターネットを利用した教育のための情報提供
- 相談の手段
 - 電話、FAX、電子メール
 - 従来の手段による相談が可能
- 希望する学校、教委等にIDを発行

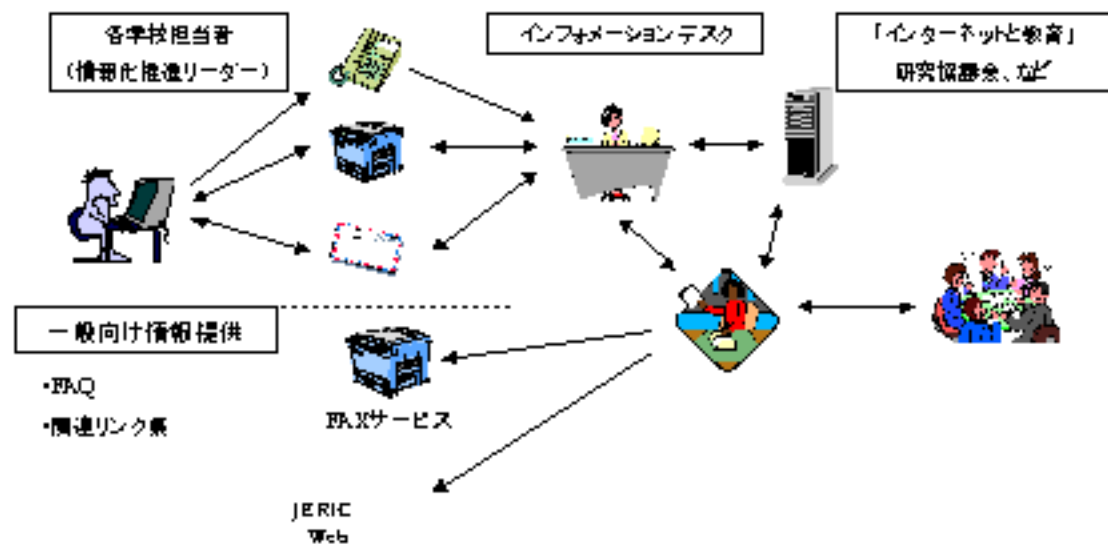
2. 先駆者の人的ネットワークの活用

- 100校プロジェクト等で活動した教員のコミュニティの形成
 - ⇒ 教育者ネットワーク(協議会)
- 教員、有識者が参加
- JERICが活動の場を提供
 - ⇔ インフォメーションセンターの支援

3. 情報の集約と伝達、提供

- 先行プロジェクトの成果のDB化
- 教育者ネットワークを通じた意見の集約
- 教育界から各界(産官学)への情報窓口

プロジェクト外略図



スケジュール

- ステップ1 – 登録受付開始(7月～)
 - 登録ID発行
- ステップ2 – 仮運用期間(9月～)
 - 問い合わせ受付開始
- ステップ3 – 実証実験本稼動(10月～)
 - データベース連動開始
- ステップ4 – 評価

JERIC 連絡先



- <http://www.jeric.gr.jp>
- 問い合わせ専用ナビダイヤル：
0570-000-633
- 事務局：**03-5286-3988**

これからの(ほんとうの)課題

- 子ども達の変化に教育が対応すること
- 100万人の教員の熱意
- 教育現場の要求に柔軟に対応できる仕組み
- 空気のような環境